

年度 2024

授業担当者 眞野玄範

学年 H1

教科 聖書

授業名 聖書科

週 1 時間

1 授業内容と進み方

1学期の前半は諸宗教における労働観を、後半はパレスチナ問題の基礎を学ぶ。2学期は聖書について、全体像をつかむことを目指して学ぶ。3学期は神道について学ぶ

2 年間計画(単元名)

1 学期	キリスト教および諸宗教、西欧近代思想、現代における労働観
2 学期	聖書について
3 学期	神道について

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	日本聖書協会
祈祷書	日本聖公会

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業ごとにワークシートを提出

5 その他

年度 **2024**

授業担当者 **小林誠・向川原光**

学年 **H1**

教科 **外国語**

授業名 **英語**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

【文法】各文法項目についてグレードに応じて段階を踏んで説明し、ステップ毎に問題演習・確認テスト等を通じて定着を図る。
【読解】エッセイや論説文、雑誌記事の読解を通して文法事項を復習しながら内容を取っていく練習、声に出して文章を読むことで、発声している英語自体を自分の言葉として理解できる力をつけることを目指す。

2 年間計画(単元名)

1 学期	【文法】文型・文の種類・基本時制・完了時制・助動詞・受動態
	【読解】Lesson 1 The Blue White Shirt [スピーチを通して言語と日本文化について学ぶ]
	Lesson 2 Does It Spark Joy? [エッセイを通して生き方・人生を学ぶ]
	Lesson 3 Hatching the Egg of Hope [エッセイを通して国際交流・芸術について学ぶ]
	Lesson 4 Digging into Mystery [プレゼンテーションを通して歴史と日本文化を学ぶ]
2 学期	【文法】不定詞・動名詞・分詞・分詞構文・関係代名詞・関係副詞/複合関係詞
	【読解】Lesson5 Roots & Shoots [インタビューを通して環境・共生について学ぶ]
	Lesson 6 You and Your smartphone [雑誌記事を読んで科学技術について学ぶ]
	Lesson 7 Living in Alaska [講演を通して自然と異文化について学ぶ]
	Lesson 8 Not So Long Ago [レクチャーを通して平和と歴史について学ぶ]
3 学期	【文法】接続詞・比較・仮定法
	【読解】Lesson 9 Our Lost Friend [論説文を読んで文化遺産について学ぶ]
	Lesson 10 Good Old Charlie Brown [エッセイを通じて生き方・芸術を学ぶ]

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
Crown English Communication I New Edition	三省堂
高校リード問題集A	

4 評価方法

方法	備考
平常点	宿題・音声録音ファイル・小テストによって評価
期末試験	授業で扱う文法と読解問題、ホームルームで練習している単語から出題
実力テスト	休暇中の学習の成果を確認する試験:2、3学期は評価に含める

5 その他

文法の学習進度は、授業の進捗によって多少前後する場合があります。

年度

2024

授業担当者

幸田宏美、牧周佑、後藤礼於奈

学年

H1

教科

数学

授業名

数学 I

週

3

時間

1 授業内容と進み方

白板、インタラクティブボードを使用しての一斉授業

2 年間計画(単元名)

1 学期	数と式
	命題
	2次関数(前半)
2 学期	2次関数(後半)
	図形と計量
3 学期	データの分析
	複素数と方程式(数学Ⅱ)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学 I	数研出版
サクシード	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
確認テスト	
小テスト	
平常点	

5 その他

年度

2024

授業担当者

後藤礼於奈・幸田宏美・塩谷知紘

学年

H1

教科

数学

授業名

数学A

週

2

時間

1 授業内容と進み方

「場合の数と確率」、「図形の性質」、「数学と人間の活動」について学ぶ。
生徒との対話や生徒間での議論を活発にしながら授業を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	場合の数と確率
2 学期	図形の性質
3 学期	数学と人間の活動

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学A	数研出版
サクシード	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
確認テスト	
小テスト	
平常点	

5 その他

年度

2024

授業担当者

杉本 洸太

学年

H1

教科

社会

授業名

歴史総合

週

2

時間

1 授業内容と進み方

教科書に即したプリントを配布し、パワーポイントを使用しつつ授業を進める。適宜、調べ学習やグループ学習も行いたい

2 年間計画(単元名)

1学期	国民国家と明治維新
	第一次世界大戦と大衆社会(第一次世界大戦終結まで)
2学期	第一次世界大戦と大衆社会(残り)
	経済危機と第二次世界大戦
3学期	冷戦と世界経済
	世界秩序の変容と日本

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
詳解 歴史総合	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
レポート	
小テスト	
平常点	

5 その他

年度 2024

授業担当者 Mrs Gerard・羽田徳士

学年 H1

教科 理科

授業名 BIOLOGY

週 3 時間

1 授業内容と進み方

授業は英語で行われる。生物学的に理解が困難な内容などは日本人教員が日本語でフォローをする。スライドや動画で授業を進め、実験や観察を通して理解を深める。理解を確認するためのアクティビティーも多く、毎週の課題はほとんどがIGCSEの問題。採点基準もIGCSEのそれを用いることでIGCSE合格に向けても効果的に授業を進めている。

2 年間計画(単元名)

1 学期	Transport in Plant
	Reproduction in Plant
	Response in Plant
	Excretion
	Co-ordination and response
2 学期	DNA, Cell Division
	Inheritance, Human reproduction
	Natural Selection
	Genetic Engineering
	Cycle within Ecosystem
3 学期	Selective breeding
	Cloning
	Food production
	Crops
	Fish farming

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
The Revision Guide IGCSE Biology for Edexcel (Grade 9-1)	CGP
Past papers of IGCSE Biology for Edexcel (on line)	Pearsons Edexcel

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	Homework
実力テスト	

5 その他

授業の内容は、EDEXCEL I.G.C.S.E. BIOLOGY のシラバスに従う。教科書は使わず、Mrs Gerardが作成したPower Point を用いて学習を進める。目標は、高等部2年の5・6月に行われる試験にパスすることである。

年度 2024

授業担当者 鈴木拓夢

学年 H1

教科 理科

授業名 化学基礎

週 2 時間

1 授業内容と進み方

- ・教科書をベースとしたスライドを使用。
- ・対話型の授業。
- ・学期に1回以上、生徒全員が手を動かす実験を行う。
- ・可能な限り実物を見せる(ex.原子模型、炎色反応、ブロモチモールブルーなどpH指示薬の色の变化)

2 年間計画(単元名)

1 学期	4月:序論と安全に関する指導
	5月:物質の性質と状態変化
	6月:原子と元素 ~宇宙初期のビッグバンから現在にいたるまで~
2 学期	9月:化学式と化学反応、化学結合
	10月:物質質量(mol)の概念
	11月:物質質量(mol)の計算、実験
3 学期	1月:酸と塩基、基礎編
	2月:酸と塩基 中和滴定実験

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
化学基礎	東京書籍
New Global	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	60%
平常点	(平常点はレポート、実験結果、の提出) 40%

5 その他

試薬や器具を使うため、基本的には理科棟で授業を行う。
単元を貫く深い問いを常に求める。

年度 2024

授業担当者 三保博子

学年 H1

教科 国語

授業名 現代の国語

週 2 時間

1 授業内容と進み方

現代文を読むための基本的な語彙力を身につけつつ、様々なテーマを扱った現代の文章に触れ、柔軟かつ論理的に読解・思考できる力を養う。また、自ら「問い」を求める姿勢を大切にし、自身が感じたこと・考えたことなどを積極的に文章に表したり、発表したり、クラスメイトと議論したりする機会を積極的に設ける。

2 年間計画(単元名)

1 学期	・他己紹介（インタビューと発表）
	【問うこと、語ること】「境目」「サイエンスの視点、アートの視点」
	・エッセーを書く
	【評論文への招待】「ことばとは何か」
2 学期	【ことばで伝える思いと考え】「ことばがつくる女と男」「身体、この遠きもの」
	【情報と推論】「わかっていることと知らないこと」
	【話し合いから議論へ】「誰かの靴を履いてみること」「〈私〉時代のデモクラシー」
	・議論する
3 学期	【伝えること、受け止めること】「ポスト真実時代のジャーナリズム」
	【主張の論理的な伝え方】「来るべき民主主義」「主体という物語」
	・小論文を書く

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
現代の国語	筑摩書房
読解を深める現代文単語評論・小説 改訂版	桐原書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
平常点	

5 その他

年度

2024

授業担当者

中武 萌

学年

H1

教科

国語

授業名

言語文化

週

2

時間

1 授業内容と進み方

小説・随筆・韻文など文学的文章について、古典から現代文学まで広く鑑賞し、読解に必要な基礎力を養う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	古文への扉「絵仏師良秀」
	想像力がひらく世界「羅生門」
	文法:歴史的仮名遣い・品詞の分類・用言の活用
	探究:芥川龍之介と説話文学
2 学期	人間の普遍的な姿「竹取物語」「伊勢物語」
	漢文への扉・「胡蝶の夢」
	想像力がひらく世界「夢十夜」
	文法:用言の活用
	探究:夏目漱石と英文学・漢文学
3 学期	転換期の文体と行動「木曾の最期」
	多彩な表現とイメージ「失われた両腕」
	文法:助動詞
	探究:自分の体験や思いを表現する

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考

5 その他

年度 2024

授業担当者 早川 陽介

学年 H1

教科 社会

授業名 公共

週 2 時間

1 授業内容と進み方

1学期は経済分野から初め、1学期は日経平均株価を授業中に毎回チェックし、世界の動きを確認する。年間通じて金融経済強めの計画。
また次年度以降の探究学習につなげるために、基礎を徹底する。授業は基本的に講義型を意識し、受験のことは強く考えず、社会の様々な課題に目を向けるきっかけを意識した授業を行う。2学期後半以降は思考力、ディスカッション、表現力を重視し、主体的、対話的学びを意識した授業を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	経済
2 学期	政治
3 学期	公共の扉
	持続可能な社会へ

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
高等学校 公共	教育図書
公共ワークシート	教育図書

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度、ノート、公共ワークシート
レポート	社会課題の応じて小レポートを実施

5 その他

2024

授業担当者

井上陽子、嶋津航

学年

H1

教科

保健体育

授業名

保健体育

週

3

時間

1 授業内容と進み方

・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに技能を身に付けるようにする。
 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
 ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
 ・個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 年間計画(単元名)

1 学期	体づくり運動
	陸上競技(短距離走・リレー)
	球技(クリケット、ラウンダース)
	保健(健康な生活と疾病の予防①)
	体育理論(運動やスポーツの多様性)
2 学期	陸上競技(投擲、ハードル走、クロスカントリー)
	球技(バレーボール、サッカー、ネットボール)
	ダンス
	保健(健康な生活と疾病の予防①、心身の機能の発達と心の健康)
	体育編(スポーツの発祥と発展)
3 学期	陸上競技(長距離走)
	球技(ラグビー、ホッケー、バスケットボール)
	保健(安全な社会生活)
	体育編(スポーツの発祥と発展)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新 高等保健体育	大修館書店

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業観察、競技記録
期末試験	ペーパーテスト
期末レポート	テストを実施しない場合はレポートで評価する
その他	学習カード

5 その他

--

年度 2024

授業担当者 湯浅 元喜

学年 H1

教科 社会

授業名 地理総合

週 2 時間

1 授業内容と進み方

現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を養う。
また、現代世界の課題について、政治・経済・歴史・倫理・地理などの観点から多面的に考える力を養う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	地形
	気候
2 学期	世界の様々な地域
	オセアニア・東南アジア
	西・中央アジア・北アフリカ・南アジア
	ラテンアメリカ・西・中央アフリカ・ロシア
3 学期	地球的課題と国際協力
	北アメリカ・東アジア・ヨーロッパ
	持続可能な地域づくりと私たち

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
『高等学校 新地理総合』	帝国書院
『新詳 高等地図』	帝国書院
『COMPLETE』	帝国書院

4 評価方法

方法	備考
期末試験	ペーパーテスト
平常点	授業態度、ノート、調べ学習・発表、ワークなど
小テスト	長期課題明けなど必要なタイミングで行う。

5 その他

- ①日本人としての背景や英国居住の要素を重視して、順序を変える場合がある。
②フィールドワークを行い、現地教材を使用する。

年度	2024	授業担当者	鈴木莉紗
学年	H1	教科	情報
		授業名	情報
		週	1
			時間

1 授業内容と進み方

高等学校学習指導要領情報に基づき授業を進める。第1学年では学習指導要領の「(1)情報社会の問題解決」と「(2)コミュニケーションと情報デザイン」を扱う。「(1)情報社会と問題解決では、情報やメディアの特性を踏まえ、情報の科学的な見方・考え方を働かせて、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する学習活動を通して、問題を発見・解決する方法を身につけるとともに、情報技術が人や社会に果たす役割と影響・情報モラルなどについて理解するようにし、情報と情報技術を適切かつ効率的に活用して問題を発見・解決し、望ましい社会の構築に寄与する力を養う。」「(2)コミュニケーションと情報デザイン」では目的や状況に応じて受け手にわかりやすく情報を伝える活動を通じて情報の科学的な見方・考え方を働かせて、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解するようにし、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身につけるようにするとともに、コンテンツを表現し、評価し改善する力を養うことをねらいとしている。

2 年間計画(単元名)

1 学期	第1編「情報社会の問題解決」
	第1章情報とメディア
	第2章情報社会における法とセキュリティ
	第3章情報技術が社会に及ぼす影響
2 学期	第2編「コミュニケーションと情報デザイン」
	第1章情報のデジタル表現
	第2章コミュニケーション手段の発展と特徴
3 学期	第2編
	第3章情報デザイン
	第4章プレゼンテーション

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
情報 I	坂村 建

4 評価方法

方法	備考
小テスト	毎時間小テストを行う。成績の30%を占め、知識・技能・思考・判断・表現を図る。
期末試験	期末テスト期間に実施する。成績の70%を占め、知識・技能・思考・判断・表現を図る。
その他	振り返りシート・授業態度、主体的に取り組む態度を図る。

5 その他